

令和4年7月13日

保護者会資料

荒川区立第三中学校長

小柴 憲一

1 1学期の教育活動より

(1)1年生

- 自治の力を築き上げてきています。それが三中生らしさです。自治の力のある集団の中では、誰かが居心地の悪くなるような言動はしにくくなります。
- 結果はともあれ、学習や部活動に一生懸命取り組む子どもが多く、自分に厳しく人に優しい子どもが多いと思います。
- わずかではありますが、まだ中学生の発達段階に至っていない、心許ない発言をしてしまう子どもがいます。ご家庭と連携して、中学生らしい立ち居振る舞いができるようにしていきます。

(2)2年生

- 強いリーダーシップを発揮する子ども、その子たちを支えて望ましい雰囲気をつくっていく子どもたちなど、とても集団として成長しました。後期には、生徒会や部の運営を任せられる状態になってきています。
- 1年生のときよりも気持ちのいいあいさつができる子どもがとて多くなりました。
- 一方で、数人ですが、中学校生活に慣れてしまい、授業中に寝てしまう子ども、上履きのかかとを踏んでいる子どもなどが特定化されています。その都度教員が注意をしています。

(3)3年生

- どのような場面でも、生徒会の中の手本となっています。3年生らしく、どっしりと落ち着いて、自分が向かう方向を見つめている子どもが多いように感じます。
- 大きな行事を終え、部活も引退した後の生活に不安を感じている子どももいることと思います。3年生とはいってもまだ子どもです。お子さんの様子を観察して、支えてあげるときは支えてあげてください。
- 進路選択については、家庭内で十分に話し合ってください。その上で三者面談にお越しいただくようお願いいたします。

(4)三組

- 3年生は最上級生らしく、2年生も先輩という自覚が芽生えてきました。1年生は中学校生活に慣れ、安定した学校生活を送っています。
- 教科の学習、その他学校生活全般において、それぞれが感じている困難に対しても、それを乗り越えようとする姿勢が見られ、自己肯定感の高まりが見られます。
- 授業中に不必要な発言をしてしまったり、教員の指示を守れなかったりした場合は、本人が忘れないうちに、その場で注意をして正させるようにしています。

2 夏休みの部活動等に参加する上での留意点

体調が思わしくないときは自宅で休養させてください。

教職員は夏休み期間中の研修会に参加したり、夏季休暇等を取得したりするなどで、通常の授業日のように人員がそろっているわけではありません。主任養護教諭も常に学校内で待機しているわけではありません。

3 2学期以降の教育活動について

(1) 9月1日に保護者引渡し訓練を行います。

就労等の日程について調整をつけていただくなどご協力をお願いいたします。本日配付のお知らせをご覧ください。

(2) 給食時の牛乳にストローがつきません。

世界的な環境保全に関する行動を受け、東京都でもプラスチックごみ削減に取り組んでいます。すでにお知らせ済みで、ホームページでも閲覧できます。

(3) 合唱コンクールを企画中です。

2年間「歌う」ということをしてこなかった子どもたちです。作品の出来映えを求めるというよりも、過去の伝統の礎をつくることを目的に実施します。詳細は、15日発行の「三中だより」をご覧ください。

(4) 始業式、朝礼などは放送ではなく、全校生徒を体育館に集合させて実施します。こちらも15日発行の「三中だより」をご覧ください。

1 学期間、教育活動にご理解・ご協力賜りありがとうございました。

4 2日間の夏休みに入りますが、それぞれのご家庭で安全に、そして有意義な生活を送ってくださるようお願いいたします。

そして、2学期が始まりましたら、引き続きご協力くださるようお願い申し上げます。